

製品名	最高使用圧力MPa	呼び径	ページ
ベローズ形			
JOB30T 型（単式）	1.0	20～500	▶ 214
JOB31T 型（複式）	1.0	20～500	▶ 214
JOB40 型（単式）	2.0	20～300	▶ 216
JOB41 型（複式）	2.0	20～300	▶ 216
ボールジョイント			
J102 型	2.0	20～300	▶ 217
J102 型（高圧用）	10	150～400	▶ 219
ユーバージョイント（スリーブ形）			
J104-2 型	1.0又は2.0	25～300	▶ 220
伸縮管継手技術資料			
各種伸縮管継手比較表			▶ 221
配管例			▶ 222
計算要領	1. 固定点に作用する荷重の計算式		▶ 223
	2. ガイド		▶ 224
取付け計算例	1. ベローズ形伸縮管継手		▶ 226
	2. ユーバージョイント		▶ 226
	3. J102 型ボールジョイントの使用法		▶ 227
各温度間における鋼管の膨張係数			▶ 230

●用途に合わせてお選びいただけます。

フシマンの伸縮管継手・ボールジョイントには、ベローズ形、スリーブ形、ボール形の3種があります。また、寸法仕様も豊富に取りそろえてあり、御希望の管継手をお選びいただけます。

●安心してお使いいただけます。

フシマンが使用する原材料は、すべて厳選したものばかりです。しかも、豊かな製造ノウハウと徹底した品質管理によって、どこにでも、そして長期間安心してお使いいただけます。

●既に各分野でお使いいただいています。

フシマンは、プラント・化学工場・一般工場・地域冷暖房・ビル・病院・学校・発電所・ホテル等、あらゆる分野で、以前からお使いいただいています。

伸縮管継手は、高圧ガス認定品ではありません。



伸縮管継手を正しく御使用いただくために、**配管条件に応じて十分な強度の主固定を設けるとともに中間固定及びガイドを正しく設けてください。**

[守らないと]

固定点が弱いと伸縮管継手又は配管が破損し、流体が噴出し、人身事故又は物的損害の発生するおそれがあります。

伸縮管継手は配管の応力、地盤沈下などの変位を吸収するために使用しますが、万一主固定が損傷した場合、伸縮管継手の機能を発揮できないばかりでなく、配管枝管が変形・破損したり、使用機器が損傷するなどの原因となります。したがって、伸縮管継手を設置後定期的に、主固定や中間固定のずれの有無及び伸縮管継手の面間の伸びの有無を点検してください。点検の時期は、設置後配管系統の耐圧直後及び最初の通気直後、1ヶ月後、その後数年（1～3年、固定点の構造、使用状況で異なる）ごとに実施することを目安としてください。



取付時及び運転に関する注意事項は、別に準備された取扱説明書を十分お読みください。